



かけ はし
懸 橋



豪華絢爛 おいらせ秋祭り山車合同夜間運行（藤ヶ森山車組・上新町山車組・
間木山車組・三田南山車組）10月4日、イオンモール下田において

もくじ

- ◆第3回定例会（20年9月議会）・・・・・・・・・・ 2～3ページ
- ◆平成19年度会計決算特別委員会・・・・・・・・・・ 4ページ
- ◆一般質問（4人）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5～8ページ
- ◆産業民生常任委員会調査視察研修報告・・・・・・・・・・ 9ページ
- ◆どうなったあの質問・・・・・・・・・・・・・・・・ 10ページ

平成20年第3回定例会（9月5日～10日）

あこうぼう

史跡 阿光坊古墳群の用地買収開始

今定例会は報告2件、議案18件、認定10件と議員発議1件を審議



定例会の会期について報告する
沼端 務 議会運営委員会副委員長

定例会は、九月五日から十日までの六日間の会期で開かれ、町財政の健全化判断比率及び資金不足比率の報告、条例の一部改正、いちよう公園整備用地の取得、史跡阿光坊古墳群保存整備事業用地の取得、平成二十年度一般会計及び特別会計の補正予算、平成十九年度一般会計及び特別会計の決算認定など、報告二件、議案十八件、認定十件が上程され、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

一般質問には、吉村敏文議員、松林義光議員、西館芳信議員、馬場正治議員の四人が登壇し、町当局の所見を求めました。

また、議員発議の「町議会会議規則の一部改正について」は審議の結果、原案のとおり可決されました。

平成19年度健全化判断比率（基準値より低いと良好な状態）

健全化判断比率		早期健全化基準	備考
実質赤字比率	黒字	14.54%	黒字 2.08%
連結実質赤字比率	黒字	19.54%	黒字 18.89%
実質公債費比率	18.8%	25.00%	基準値以内
将来負担比率	180.0%	350.00%	基準値以内

◆平成十九年度おいらせ町財政健全化判断比率及び資金不足比率について報告

町の財政健全化判断比率の四項目及び資金不足比率はいずれも良好であると報告された。

主な議案の内容

平成19年度資金不足比率（基準値より低いと良好な状態）

対象会計	資金不足率	経営健全化基準	備考
病院事業会計	黒字	20.0%	資金不足に至らず良好
公共下水道事業特別会計	黒字	20.0%	
農業集落排水事業特別会計	黒字	20.0%	

◆地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理

地方自治法の一部改正に伴い、「議員の報酬」を他の行政委員会委員等の報酬と分離し、「議員報酬」と名称が改められたことにより用語を整理したものの。

◆おいらせ町特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償額に関する条例の一部改正

当町の「地域包括支援センター運営協議会委員」、「地域密着型サービス運営委員会委員」及び「自立支援協議会委員」の各委員に関し、町の非常勤特別職の職員として報酬及び費用弁償を定めるもの。

◆おいらせ町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

重度心身障害者医療費の助成について、これまで国民健康保険法のみを対象としていた現物給付を、社会保険法の被保険者及び被扶養者についても適用させるもの。



阿光坊古墳群の用地買収予定地

◆いちよう公園整備事業用地の取得

いちよう公園の整備事業用地として、権利者一名から総面積二万一千五百三十七平方メートルを予定価格三千二百三十万五千五百円で取得するもの。

◆史跡 阿光坊古墳群保存整備事業用地の取得

史跡 阿光坊古墳群の保存整備用地として、地権者九名から総面積四万五千二百三十三平方メートルを予定価格五千五百三十万四千三百円で取得するもの。



議員発議の提案理由を述べる
佐々木 光雄 議員

◆議員発議
おいらせ町議会会議規則の一部改正
地方自治法の一部改正に伴い、議員全員協議会を正規の議会活動として明確にするため、所要の改正をするもの。

阿光坊古墳群用地の買収計画

年度	買収面積(㎡)	金額(千円)	地権者
20年度	45,023	55,305	9名
21年度	28,335	28,335	2名
22年度	38,624	39,347	1名
合計	111,982	122,987	12名

用地費の80%は国の補助で、町負担は20%です。

平成20年度 補正予算の概要 (20年9月補正)

(単位：千円)

会計	補正前	補正額	補正後	補正の主なもの	
一般	8,811,103	268,292	9,079,395	青い森鉄道株式会社出資金	23,600
				公共サイン等整備工事費	10,000
				放課後児童健全育成事業委託料	2,925
				生産振興総合対策事業等補助金	72,841
				夏秋いちご日本一飛躍産地育成事業費補助金	21,403
				十和田湖広域観光協議会負担金	300
				町道整備工事費	15,000
				町営住宅修繕工事費	2,700
				自動体外式除細動器(AED)購入費	1,800
				国保	2,652,801
国保老人保健医療費拠出金	8,655				
老人保健	146,850	51,417	198,267	一般会計繰出金	51,417
奨学資金	19,394	▲425	18,969	奨学資金貸付金	▲780
公共下水	1,336,185	2,376	1,338,561	マンホールポンプ修繕料	800
集落排水	105,104	1,300	106,404	消費税	1,300
介護保険	1,543,826	26,837	1,570,663	介護予防サービス等給付費	10,000
霊園事業	13,890	59	13,949	霊園管理費	59
公共用地	45,508	2,270	47,778	洋光台団地定住促進助成金	1,840
後期高齢	143,681	▲9,065	134,616	後期高齢者医療広域連合納付金	▲9,065
病院事業	1,059,190	38,000	1,097,190	病院リフォーム工事費	9,000
総計	15,877,532	421,986	16,299,518		

平成19年度会計

一般会計と特別会計決算を認定

決算特別委員会

九月九日、十日の二日間、議員全員で構成する決算特別委員会（成田隆委員長）が開かれ、平成19年度おいらせ町一般会計、特別会計歳入歳出の各決算を審査しました。

各決算について、議員と町当局との活発な質疑・応答が行われた結果、九月十日の本会議でいずれも認定すべきものと決定しました。



19年度決算を審査する決算特別委員会



決算特別委員会の審査結果を報告する成田委員長

19年度の主な事業 (単位：千円)

町勢要覧作成事業 (8,500部)	8,232
町民バス運行業務委託料	22,658
街路灯整備事業 (947基)	56,727
福祉灯油購入費助成金 (911世帯)	9,110
「冬の農業」施設整備補助金 (6戸)	9,490
ホッキ貝稚貝放流事業補助金	600
神明橋補修工事	55,689
いちよう公園せせらぎ工事	21,900
奥入瀬西団地建築工事 (2棟10戸)	96,075
防災行政用無線統合整備工事	61,320

平成19年度 各会計の歳入歳出決算状況

(単位：円)

会計別		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		9,100,568,506	8,978,650,528	121,917,978
特別会計	国民健康保険特別会計	2,644,576,840	2,584,965,193	59,611,647
	老人保健特別会計	1,573,540,810	1,551,683,797	21,857,013
	奨学資金貸付事業特別会計	17,312,495	17,192,763	119,732
	公共下水道事業特別会計	1,211,668,253	1,202,736,597	8,931,656
	農業集落排水事業特別会計	106,878,262	104,492,385	2,385,877
	介護保険特別会計	1,596,095,263	1,569,779,551	26,315,712
	霊園事業特別会計	13,491,670	13,371,311	120,359
	公共用地取得事業特別会計	51,103,897	51,032,392	71,505
	病院事業会計	収益的収支	917,112,340	907,058,466
資本的収支		85,523,000	115,445,999	▲29,922,999
合計		17,317,871,336	17,096,408,982	221,462,354

甲洋学区地域に目を！



吉村 敏文 議員

これまででも拡幅の整備要望があるため、「生活関連道路整備計画書」に整備路線として位置づけています。
総合的に判断した場合に緊急性が高く、スピードを限らず早く

二川目・旧県道 拡幅について

質問 二川目町内稲荷団地、二川目北団地の道路が整備され交通車輛も以前と比較して大変多くなっている現状です。

回答 この二つの団地を結ぶ旧県道部分、約三百メートルの道路幅が非常に狭く、車輛が交差できず立ち往生している状況です。
町民からも何とか早い時期にこの区間の整備を望む声が上がっている。
町の考えを伺います。

回答 当該路線は車道幅員が狭いため、車がすれ違えるには大変厳しい道路であると認識している。

整備したいと考えている。今後、産業民生常任委員会と相談し優先度を決めてまいります。

町営住宅建設 計画について

質問 今後の新たな建設計画について伺います。
現在、甲洋小学校の新入生が二十五人前後で推移しています。

回答 今後の新たな建設計画については、甲洋学区を町営住宅建設計画案に入れて議論していただきたい。

回答 今後の建設計画ですが、新たな「町営住宅整備計画書」を策定し、老朽化の著しい、いちよう団地、くるみ団地、向山団地、三田団地に入居している方々の安全かつ快適な生活ができるよう住宅建設の整備につとめてまいります。
また、甲洋学区の児童数も増えない環境にあり、住

宅建設場所等の計画内容は、甲洋学区も含めて議論してまいります。

二川目海浜公園の 維持管理について

質問 十八年間続いた砂浜祭りは昨年で中止となり、非常に残念に思います。公園側に海岸から吹き上げる大量の砂が堆積しており、人力とかボランティアでは無理がある。

回答 公園の維持管理方法について町の考えを伺う。

回答 海浜公園は全国的に見て規模の大きい砂浜海岸であり、現在も地びき網漁が営まれ多くの方々が訪れる公園です。季節風に乘って運ばれてくる砂が大量に堆積する場所であり、この厳しい自然環境には苦慮しております。
当面は砂の堆積状況を見ながら除去作業を進め、必要な予算措置をし、公園の維持管理に努めてまいります。



吹き上げられた砂が堆積し心配される！
(二川目海浜公園)



車のすれちがいが出来ない二川目稲荷団地と北団地を結ぶ幅員3mの道路

一般質問



松林義光 議員

学校給食運営をセンター方式で進める根拠は

質問 今後の学校給食運営はランニングコストを考慮し、センター方式か、単独学校方式か、民間委託すべきか多様に検討することでしたが、町長は三月議会の所信表明で、センター方式で進める方針を打ち出されています。その根拠を示されたい。
また、建設年度、工事費、建設場所をどう考えているのか。

答弁 学校給食運営を考えると、

将来の財政を考慮し、両方式のランニングコスト、衛生、運営管理、児童生徒に同一配食等から、センター方式の方向性を重視したところです。建設年度、工事費、建設場所は現在検討中です。

木ノ下小学校の給食室を拡張する考えはないか

答弁 児童数に比べ給食室の狭いのは認識しています。しかし、拡張となると相当の財源を要します。合わせて将来は、センター方式で進める方針ですので、給食室の拡張は考えていません。

指定管理者制度について問う

質問 白鳥の家をはじめ、八施設が今年度中に導入の是非を決めることになっていきます。進捗状況を示されたい。

答弁 対象となっている八施設にあつては、検討会議や利用者団体から意見を聴取するなど、導

入の是非を決める詰め段階に入っています。現時点で、四月から導入を決めている施設はありません。

今後は、メリット、デメリットを十分把握したうえで、慎重に検討し結論を出していく考えです。

質問 大山将棋記念館の有料入館者は一七年度七百九十九名、十八年度五百九十二名、十九年度四百三十八名と年々減少の一途をたどっているのが実態です。合わせて、収入七万円弱、支出一千万円余りの状況下で候補者となる事業者があり得ると思っているのか。

答弁 有料入館者数は年々減少しているのは事実です。指定管理者を指定する際は、施設の管理、人件費を含めた予算措置のもとに管理運営を代行させたいと考えています。

質問 児童館、児童センター四館セットで候補者を選定するのか、一施設ごとに選定するのか。

答弁 他市町村の事例によると一括の選定が多いとのこと。導入の際は、一括あるいは一施設ごとが良いのか十分検討したいと思えます。

町長車の使用

質問 町長は平常時の登退庁は町長車を使用することなく、職員同様、自家用車で通勤する考えはないか。

答弁 平常時は今までどおり町長車で登退庁します。



指定管理者制度の導入が検討されている大山将棋記念館(上)



南部児童センターひまわり館(下)

町の談合情報処理について



議員 西館 芳信

② 入札制度と関連委員会のあり方について
 現在採用の指名競争入札の是非を検討し、一般競争入札の採用で談合

質問 本年五月、町発注の奥入瀬西団地機械設備工事の入札に関し、具体的業者名や金額を新聞社経由で受けた町は「町談合情報対応指針」に基づき、入札を一時延期後、再度実施したが、これには「工事関係者や官製談合の当事者ともなり得る首長らにも即、通報実態が知られ、自分達に都合よく、証拠いん滅ができる等、問題点が多いと思う。

次の点を問う。

① 指針の良否認識と改正方について

先の議会での、指針には欠陥があるとの質問に、町の答弁は、指針の検証と改正方の必要性に含みを残したが、その後
 の動向は？

温床の撤廃を図ることが大事だ。

それゆえ、「入札適正執行委員会」を独立性の高い第三者機関とし、談合情報があつた際は委員長に、首長との協議を経ず、内容を警察等に速報できる権限を付与する等が必要だと思ふが？

答弁

一点目、談合情報が初めてで、実績のある県等から聞き「対応指針」に基づいて処理したものであり、誤りはないと認識しております。指針は国土交通省の「談合情報対応マニュアル」に基づいた標準的なものと思っております。

今後は、談合情報がある時には、入札直前に参加者から事情聴取を行い、談合の事実がある場合は入札を中止、または延期し、ない場合は、全員から誓約書をとり、入札執行結果を委員会で審議、情報と入札結果が一致した場合は、入札を無効とし、公正取引委員会や警察に通報する方向で

見直しを検討してまいります。

入札制度につき、国は不正行為排除のため、一般競争入札の導入、拡大を要請していますが、公共投資減少の中、競争激化で著しい低価格による入札が急増、工事の質低下が懸念され、総合評価方式等の導入、拡大について、国、県と意見交換し、地元企業が優先的に参加できるように検討してまいります。

二点目、「委員会を第三者機関に」ですが、委員会は副町長を委員長、関係五課長を委員とし、指名業者の適格性及び指名停止の審査等のほか、建設工事は設計額三千万円以上、業務委託等は積算額が七百万円以上の契約につき、指名業者を審査し決定しております。

同様の委員会は、全国ほとんどの自治体が設置、恣意的業者指名が困難なので、外部より民間有識者を加える必要はないと考えております。

三点目、「委員長への権限の付与」ですが、指針の中に「事務局は委員会の審議を踏まえ、手続きの各段階において、逐次、公正取引委員会へ通

報するものとする」とあり、既に相当の権限がある判断でき、その必要性はないと考えております。



公正、透明な入札で効率的公共投資を！！
 （町営住宅 奥入瀬西団地建設工事）



馬場正治 議員

三本木地区の生活道路の 現状と改善策を問う

質問 三本木地区は、早くから市街化区域に指定されたため国の補助による農村整備事業の適用を受けられず、地区内の多くの生活道路は数十年前の状態が改善されないまま現在に至っている。

特に地区の中心部から北へ延びる二本の幅員二メートル余りの道路は、消防自動車も救急車も入れず、雪解け水や雨水が溜まると排水されないため、長靴以外では歩けない状態が長期間続くことが多い。

地区住民が長年このような劣悪な生活道路に苦しんでいる現状を見て、私は防災上の見地からも町主導による対策が不可欠かつ急務であると考え、この現状を町はどう認識し、今後の道路整備計画の中でどのように取り組む考えなのか。



三本木地区生活道路の一例

答弁 生活道路の整備要望についてはこれまで多数多く寄せられておりますが、そのすべてに対応するには概算で五十八億円ほど必要であり、現状政況下では非常に厳しい現状です。

町の財政事情等により、これまで寄せられた要望について生活関連道路整備計画基本方針を策定したところですが、質問の当該路線の現状は確かに狭く、火災時には消防自動車が入ることが厳しい道路であり、側溝等が

ないため雨天時には数日間水溜まりができ生活に不便をきたしている現状を認識し、整備の必要性を理解しています。

今後の計画としては、二本の路線のうち西側の路線は既に今回策定した整備計画書に記載されているため東側の路線を追加し、地域間バランスを考慮しながら計画的に整備を進めてまいります。

現地調査の結果、西側の路線については特に状態が悪く、排水対策から整備を進める考えです。

奥入瀬川全区域を 禁猟区（鳥獣保護区）に

質問 現在奥入瀬川の大部分の区域では一定の期間を除き銃器による狩猟が可能となっているが、流域に近い民家では屋根に散弾銃の弾が落ちてくることがあり危険だという声を聞く。川の流域には農地が多く作業する住民も不安ではないか。

答弁 禁猟区については、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、県知事の許可により鳥獣保護区、自然公園特別保護区、特定猟具使用禁止区域、休猟区等の区域が指定されており、区域指定は県と町、猟友会、農協、森林組合、漁協等の機関に意見照会した上で決定されています。現状は、町の全面積の約八パーセントが一定の期間を除き、すべて銃器を用いた狩猟ができるようになっています。

鳥獣保護区指定に関しては法律上非常に厳しい規定があるため、奥入瀬川両岸全域については、まず住民や関係機関と特定猟具使用禁止区域の指定に向けた協議を実施し、指定後に鳥獣保護区指定に向けて進みたいと考えます。

産業民生常任委員会 調査視察研修報告

当委員会では、十月八日から十日まで二泊三日の日程で視察研修を実施しました。

河川小糸川に面しているため流下土砂が港口と港内に堆積し安全な出入港が困難となり、県の管理による浚せつ費用が毎年

数千万円かかっていた。東京湾に面した場所に新たな港口を整備し、既存の港口を閉鎖することにより流下土砂の港内への進入を防止するための工事が進行中であった。百石漁港の場合は海流による漂砂の堆積が予想されるため、町が管理する場合一部の浚せつ費用の負担が懸念される。

漁港の土砂 堆積対策

千葉県君津市
小糸川漁港

●視察目的

竣工が近づく百石漁港に予想される港内土砂堆積対策について、類似規模・立地条件の先進地に学ぶ

小糸川漁港は、平成十八年度実績で五トン未満の漁船が百十六隻利用し、二億二千九百万円の水揚げがある第一種漁港であるが、出入口が二級



小糸川漁港の改修状況の説明を受ける一行

三浦市の人口減少対策

神奈川県 三浦市

●視察目的

人口減少を抑制するための定住促進制度について学ぶ

三浦市では過去のドーナツ現象による人口増加の後、都心への回帰現象に転じて急激に人口が減少しており、それを抑え

るため市外から転入する一定の条件を満たす世帯に対して十万円の奨励金を交付している。実績は平成十八年度から二十年度途中までで二百四十五人となっているが、この制度は今年度限りで廃止の予定とのことだった。

特筆すべきは営業開発課を設置して都内で積極的に三浦市のセールスを展開していることであり、当町も大いに学ぶところがあると思った。

三浦市定住促進制度の条件を満たすと十万円を交付

- ①五年以上居住する方
- ②世帯主が五十歳未満
- ③世帯の人数が二人以上
- ④税金の滞納がない方
- ⑤敷地面積が一定以上
- ⑥ボランティア登録の方など

産業民生常任委員会
委員長 馬場正治 記



三浦市定住促進制度について意見を交わす委員（三浦市役所）

どうなったあの問題

質問 下田地区の街路灯は20ワットが多く、百石地区に比べ暗い、安全・安心の観点から改善すること。

答弁 平成19年度から22年度までの4カ年事業として計画している。（電気料金は全額町負担です。）

経過 平成19年度に事業着手し、50ワットの街路灯947基を整備済みです。20年度は1,076基を、21年度は400基、22年度は50基を整備予定です。総事業費は19,234万円の見込みです。



計画的に整備を進めている下田地区の街路灯（木ノ下小学校前の通学路）

これまで定例会で行われた一般質問の中から、その後どうなったか追跡調査してみました。
今回は平成十八年十二月議会で議員が質問した街路灯・防犯灯について、合併後の下田地区の街路灯整備計画の経過を調査しました。

編集後記

実りの秋をむかえ、米の収穫も順調に進み、喜ばしく感じております。

さて、私が議会広報委員会委員になって一年半、文字で伝えることの難しさを痛感しているこの頃であります。議会では、町から出される議案について活発な議論をし、色々なことが決まっています。

議会広報委員会は、町民の皆様に分かりやすく、たくさんの方々に伝えるべく意見を出し合い、町民の皆様と議会との「懸橋」となるよう努めてまいります。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

議会広報編集委員 川口弘治 記



議会広報の編集をする委員会